



4Revs Guidance Document

2023.5.12



Chapter 1: 4Revsのビジョンと活動趣旨

1-1 4Revs—共創のエコシステム プロジェクト・ビジョン

4Revs (= 4 Revolutions) は、人類が直面する
「4つの生存課題」を解決に導くことを存在意義とする
これまでになかった共創のエコシステム

一世代（2020～2050）にわたり活動を続け、世界各地の
若手社会起業家・社会イノベーター・サステナビリティ
の実践者と企業や公的組織を結びつけ、**4Revs**のそれぞれの
分野で、次世代型のディープ・イノベーションを協働
・共創を通じて生み出す

Vision 1

共創を通じた人類の生存課題に対する新たな解の発掘と実行

Vision 2

参加企業のサステナビリティ革新の活性化・刺激・支援

Vision 3

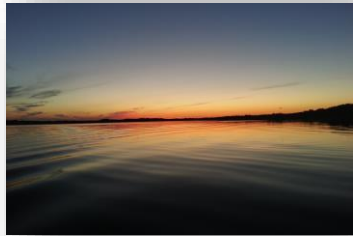
世界各地の社会起業家・優れた事業や製品等のスケールアップと普及

1-2 世界が直面している4つの生存課題（近代文明の継続・人類生存のために解決が必須の課題）



食糧 農業 タンパク質の供給

- ・ FAOによると、2050年までに世界全体で約70%の食糧増産（2009年比）が必要になる
- ・ 従来型の農業をつづけると、2050年までに表土の90%が劣化する可能性がある
- ・ IPBES（生物多様性の国連政府間パネル）によると、2050年までにアジア・パシフィック全域で商業的な漁業が営めなくなる可能性がある



水 水の技術 水の管理

- ・ 国連・OECDなどによると、2050年までに水需要は55%増える（淡水の約70%は農業で消費）
- ・ MITによると、2050年までに世界人口の約52%（50億人前後）が水ストレスに直面する
- ・ アジアの研究者グループによると、チベット高原（アジアにおける最大の供給源の一つ）の氷河が急速に融解しているため、21世紀のうちに低所得者層20億人以上に供給問題が発生



資源 サーキュラー 生態系の修復

- ・ IPBESによると、土壌の劣化および気候変動の影響により、2050年までに5000万人～7億人が移住を余儀なくされる
- ・ （2016年ダボス会議で発表された）英国エレン・マッカーサー財団によると、2050年に海中のプラスチックは魚の重量を超える可能性がある
- ・ WWFによると、1970～2018年の間に世界の脊椎動物の生息個体数が平均69%減少している



エネルギー 気候変動 温室効果ガス

- ・ IEAなどによると、現在の一次エネルギーの80%前後は化石燃料によって賄われている
- ・ 米EIAなどによると、2050年までにエネルギー需要は約50%増える（2020年比）
- ・ 世界銀行によると、2050年までに2億人以上の気候変動難民が生まれる可能性がある

1-3 メンバーの協働で策定した長期ロードマップ

参加企業・リサーチチームの共創により、2020年5月に下記の長期ロードマップを策定、2023春から「第二ステージ」へ





Chapter 2: 4Revsの運用方法

2-1 4Revsの主体者とは

4Revsは、世界各地の若手社会イノベーター、社会起業家、サステナビリティの実践者と、企業内イノベーターやイントラプレナーとの協働を通じて活動する「イノベーション（共創）プラットフォーム」である。

4Revs Co-creative Ecosystem — 世界に広がる独自の共創プラットフォーム

6大陸にまたがる若手の社会イノベーター、社会起業家、サステナビリティ実践者のネットワーク（NELIS）を通じて、4Revs イノベーションの「シーズ」を発見・発掘

【現在、リーサーチほか約70名のNELISメンバーが参加】



4REVS
CO-CREATIVE ECOSYSTEM

企業・公的機関の「イノベーション・ニーズ」および「パートナーシップ構築」＋「キャパシティ・ビルディング」の強化（R&D+事業創出+ HRの両側面を含む）

【現在、25の社・機関から約240名が参加】



世界の若手社会イノベーター、社会起業家などは、NPO法人NELIS（2015年設立）のネットワークを通じて参加する。リサーチチームがシーズ発掘を行う。



「共創のエコシステム」であるため、企業参加者も主体者であり、プレイヤーである。成果をともに生み出すマインドセットが4Revs成功のカギとなる。

4Revs事務局では、下記3つの機能・メディアを通じ、参加企業とのコミュニケーションを図っている。

イベント・アラート
 <毎月15日前後に配信／8月除く>

当月・翌月のイベントのリマインダー
およびZOOMリンクなどを共有する



4Revs

Event Alert

April 2022 – May 2022

April

4月はオリエンテーションが2回開催されます。ご都合の良い日程でどちらかにご参加いただければ幸いです。
4Revsの活用について説明させていただきますので、ぜひご参加ください。
※outlookカレンダーの画像からカレンダーに遷移することができますので、必要に応じて活用ください。

イベント	オリエンテーション #1
日時	4月20日 9:00-10:30  Outlookカレンダー (Link)
場所	4Revs 2022 Orientation #1 時間: 2022年4月20日 09:00 AM 大阪、東京 https://zoom.us/join?j=115404713959 ミーティングID: 824 0471 3959 パスコード: 219693
内容	・ Green streamについて ・ Blue streamについて ・ Red streamについて ・ met社による実装支援サービスについて ・ QAなど

イベント	オリエンテーション #2
日時	4月27日 9:00-10:30  Outlookカレンダー (Link)
場所	4Revs 2022 Orientation #2 時間: 2022年4月27日 09:00 AM 大阪、東京 https://zoom.us/join?j=137148281897 ミーティングID: 871 4828 1897 パスコード: 670570
内容	・ Green streamについて ・ Blue streamについて ・ Red streamについて ・ met社による実装支援サービスについて ・ QAなど

Event Alert

April 2022 – May 2022

May

5月は今年度初めてのリサーチギャザリングが開催されます。
テーマは「エコシステムでの協働・共創の基・コンテンツの活用」です。

イベント	リサーチギャザリング #1
日時	5月20日 14:00-17:45  Outlookカレンダー (Link)
場所	トピック：Research Gathering #1 時間：2022年5月20日 02:00 PM 大阪、東京 Zoomリンク先にご参加下さい ミーティングID: 832 100 3190 パスコード: 372727
内容	14:00 フェイェット 14:10 リサーチへの関心（趣意）共有（アラブ） 14:30 4Revsのビジョンとロードマップの発表 14:45 企業間アクセスポイントと成功のためのプラクティス 15:05 Zoomチャット・ポスト（交流を促す） 15:15 休憩 15:55 4Revsコンテンツ紹介・活用法 ・ エコシステム4Revs Inventionの調査報告 ・ 世界の4Revsインベントプラットフォームの活用 ・ クラウドのビジュアル化と活用 ・ インタラクティブな環境でのクラウドと活用 ・ NLPのマイグレーションの紹介 17:05 4Revsインベンションの最新動向に関するディスカッション アンバサダーによる4Revsに関するオンラインイベント 17:35 今後の4Revs予定 17:45 終了

RedとBlueは基本的に年間通じての途中参加は可能となります。

Red

5月は予定がございません。

Blue

5月は予定がございません。

2-5 外部向けコミュニケーション: 4Revsウェブサイトとその役割

4Revsの公開ウェブサイト。4Revsを外部に向けて発信することによる参加企業の広報的側面と、4Revsプラットフォームの拡大に向けた営業側面を持ち合わせる。



<https://4revs.net/>



Chapter 3: 活動内容の紹介

3-2 年間活動プログラム 6つの柱

2023年度以降は、全企業が参加できるグリーンストリーム（研究・情報収集・交流）、ブルーストリーム（人材育成）およびピラースポンサーのみ参加できる「レッドストリーム」で運営する。

1	グローバル・イノベーション・ハブとイノベーション・ラボ（GIH） 2023年度はキャラバン方式、2024年度から常設を目指す／年4回のイノベーション・ラボ開催
2	4Revs投資ファンド構想 2023年～2024年度は研究＋fund of fundsを目指す。2025年度から共同ファンド設立を検討
3	事業共創プログラム 構想から事業企画に至るまでをファシリテート。実装に向けた各種支援（一部有償）
4	GICリサーチサロン（協働リサーチ・学習）/オンラインサミット 年6回開催を通じたコラボラティブ・リサーチ（オンライン）
5	情報プラットフォームの活用と4Revsハンドブック（仮称）の制作 世界における約500のケーススタディを踏まえたトレンド分析＋関連インテリジェンス
6	ソーシャル・イントラプレナー育成講座 実践型サステナビリティ人材育成カリキュラム（イントラプレナー・コンパスを活用）

限定参加枠
コミュニティ・パートナー
4～6のみ参加可能

3-3 グリーンストリーム（概要・年間スケジュール）

グリーンストリームの年間プログラムは全企業・全参加者にご参加いただけるオンライン・プログラム。

2023年度実施スケジュール		Green Stream 全企業・全員参加可能	
開催日時	時間	プログラム	備考
4月14日	9:00-10:15	オリエンテーション	年間活動概要を紹介
5月31日	15:00-17:45	GICリサーチサロン #1 (オンライン開催)	リサーチチームによる研究テーマ設定＋グループワーク 4Revsの情報コンテンツおよびグローバルイノベーションセンター進捗
7月12日	15:00-17:45	GICリサーチサロン #2 (オンライン開催)	上記同様
9月19日	15:00-17:45	GICリサーチサロン #3 (オンライン開催)	上記同様
10月下旬	日程は未定	グローバル・サミット2023 (オンライン開催)	グローバル・コンサルタンシー・ネットワークのメンバーによる 4Revs分野の知見、事例紹介、グローバル動向など
11月22日	15:00-17:45	GICリサーチサロン #4 (オンライン開催)	上記同様
1月23日	15:00-17:45	GICリサーチサロン #5 (オンライン開催)	上記同様
1月30日	9:00-10:30	サステナビリティ・トレンド ウェビナー 2024 (各社の一般社員も参加可能)	2024年度のサステナビリティ・イノベーションを俯瞰するトレンド・ ウェビナー（講師：ピーター D. ピーダーセン）
1月30日	10:45-12:00	次年度企画説明会	2024年度以降の4Revs活動概要を紹介する
2月28日	15:00-17:45	GICリサーチサロン #6 (オンライン開催)	上記同様
3月21日	15:45-17:45	最終報告会	2023年度の活動報告、2024年度以降の展望

アルムナイ参加可能

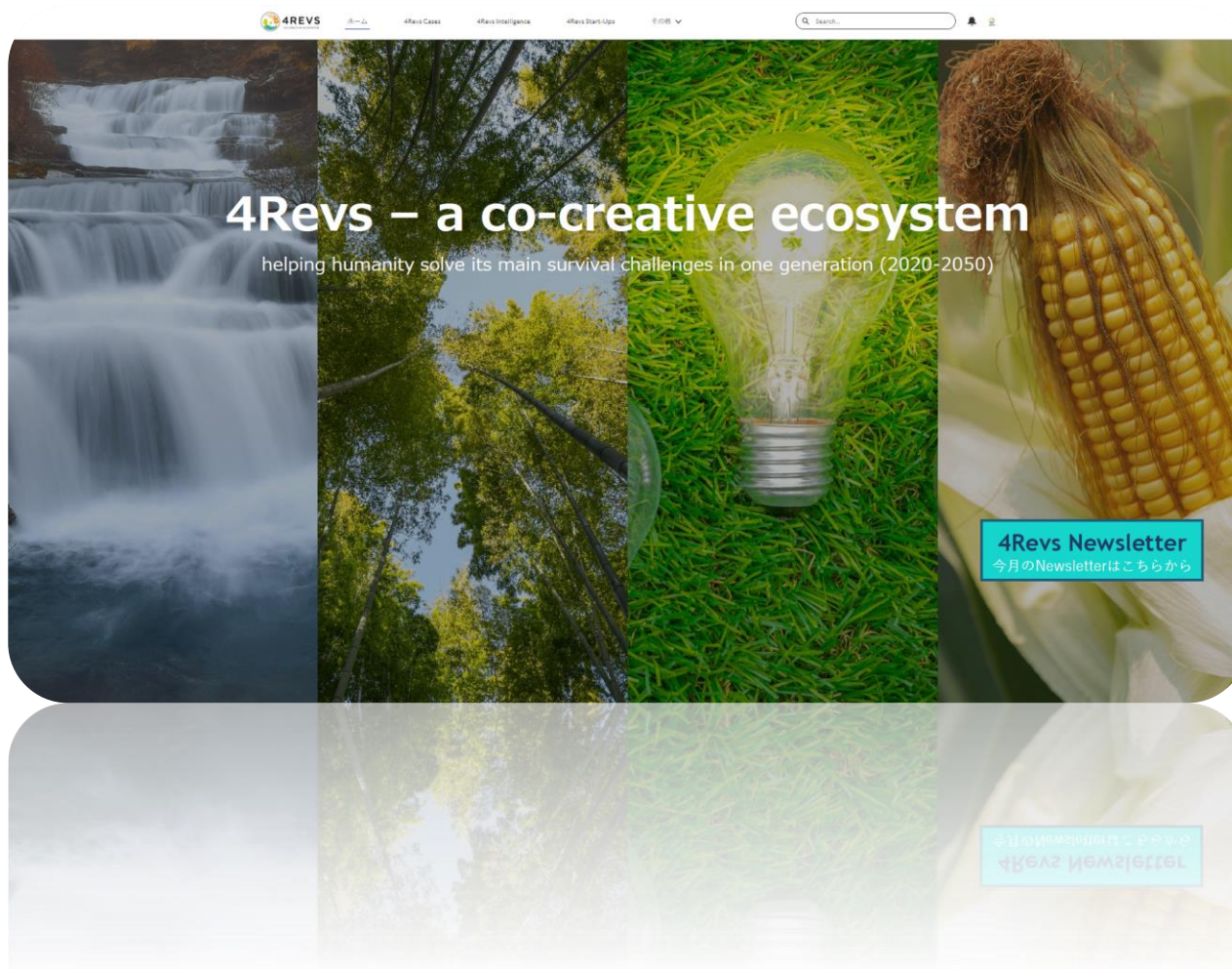
一般社員も広く参加可能
アルムナイ参加可能

一般社員も広く参加可能
アルムナイ参加可能

アルムナイ参加可能

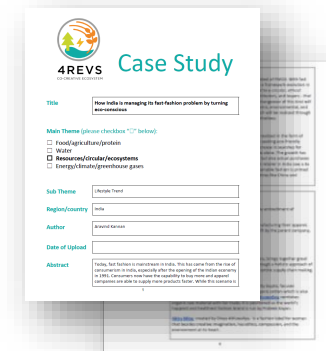
3-3 グリーンストリーム ITプラットフォーム<コミュニティ・ページ>の活用

4Revsの主な活動内容やスケジュールなどは、セールスフォース・ジャパンの協力により構築された独自のITプラットフォーム、通称<コミュニティ・ページ>からアクセスできる。このコミュニティ・ページで、4Revs関連の情報・日程・資料を一元管理している。



コミュニティ・ページの主な機能

- 4Revsケーススタディ
(月約3-4ケース前後追加)
- インテリジェンス情報
(第一営業日にNL発行／年10回)
- 4Revs投資関連情報
(投資ファンド、ベンチャー紹介)
- More:
 - ・年間スケジュール
 - ・資料アーカイブ
 - ・4Revsガイダンス・ドキュメント
 - ・事務局連絡先
- テーマコミュニティ
(企業参加者、リサーチャー双方がやり取りできる
オンラインコミュニティ)



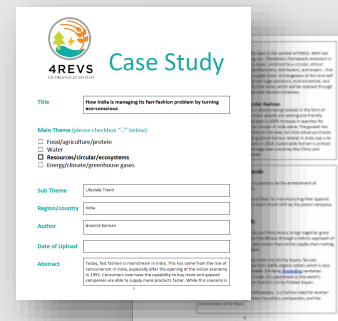
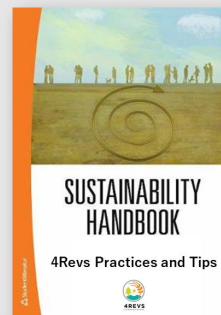
3-3 グリーンストリーム（GICリサーチサロン）

GICリサーチサロンでは、4Revsのリサーチチームのテーマ設定およびファシリテーションのもと（通訳あり）、4Revs関連テーマについて協働型リサーチを行う。これまでの4Revsケースのメタ分析（横断的分析）や、4Revsハンドブック制作に向けた議論も、このGICリサーチサロンで実施する。

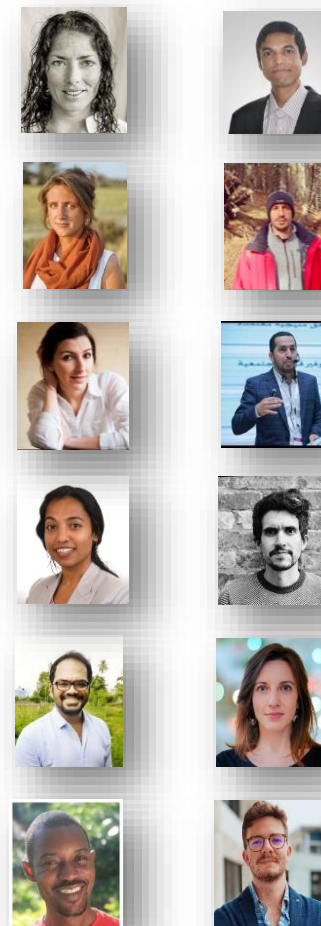
GIC Research Salons オンライン／全参加者対象 May 31, Jul. 12, Sept. 19, Nov. 16, Jan. 23, Feb. 28 (15:00-17:45)

内容は変更となる場合がある

- ① ゲストレクチャー（リサーチャー等による／4Revs関連テーマ）
- ② リサーチクエスションの紹介／グループワークのためのテンプレート・ワークシートの紹介
- ③ ワークショップでの議論の共有
- ④ ハンドブック制作やケースのメタ分析に関する共有
- ⑤ グローバル・イノベーション・センター準備の進捗共有など

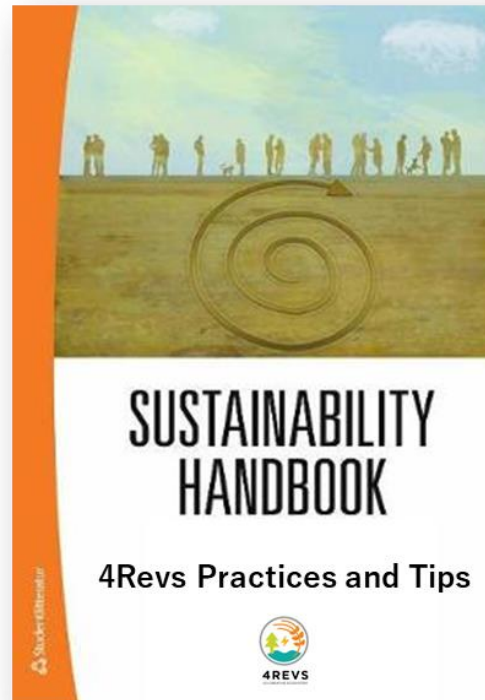


世界11か国のリサーチチーム
(p. 30参照)



4Revs関連の報告書、国連会議、科学的知見などといったインテリジェンス情報を引き続き毎月アップロードすると同時に、社内活用を円滑にするためのインテリジェンス・ニュースレターも年10回発行する。

年間10回、A4 2枚のインテリジェンス・ニュースレター
を制作、社内に活用いただく（役員層向けも想定）



3-4 ブルーストリーム（概要・年間スケジュール）

ソーシャル・イントラプレナーの育成を目指すLeague of Intrapreneursや、世界経済フォーラム（WEF）との協働を通じて、「社会課題」を「事業機会」に転換できる人材育成を目指す（オンライン実施）。実施期間は、6月～9月。その後、レッドストリーム（事業共創プログラム）への参加も可能になると想定（ピラースポンサー参加の場合）。

2023年度実施スケジュール		Blue Stream 全企業・アンバサダー参加可能	
開催日時	時間	プログラム	備考
6月15日	15:00-17:30	カリキュラム説明と導入レクチャー	・ League of Intrapreneursによる参加、概念と事例の紹介（通訳あり）
6月28日	9:00-11:00	イントラプレナー・コンパス活用法の説明 メンバー間での関心事の共有	・ ソーシャル・イントラプレナーシップと組織文化（可能性と課題） ・ 本コースのツール、イントラプレナー・コンパスの詳細解説
7月21日	9:00-11:00	イントラプレナー・コンパス上部の共有	・ ソーシャル・イントラプレナーシップの実践例 ・ イントラプレナー・コンパス上部の検討結果の共有と相互FB
8月7日	15:00-17:30	イントラプレナー下部の説明 活用できるリソースの紹介 Global Intrapreneur Weekの紹介	・ League of Intrapreneursによる参加、リソースやプログラムを紹介 ・ Global Intrapreneur Week（10月の紹介） ・ イントラプレナー・コンパス下部の詳細解説
8月29日	9:00-11:00	イントラプレナー・コンパスのリハーサル （グループ内発表と相互フィードバック）	・ 各自が作成したイントラプレナー・コンパスの中間発表と相互FB ・ 講師による策定の強化ポイントの解説
9月12日	15:00-17:30	イントラプレナー・コンパス完成版の 発表と活用に関する議論	・ 実践に向けたヒント ・ コンパス完成版の発表 ・ 本コース後の流れについて（活用できるプログラムなど）
10月 16日～20日	様々な時間帯	Global Intrapreneur Week	・ オンラインにて開催されるグローバル・イベント（参加は任意） 数十のワークショップを通じて、ソーシャル・イントラプレナーと 交流し、さらに理解を深める



2023年10月から、レッドストリーム（事業共創プログラム2023）への乗り換えも可能になると想定（ピラースポンサー参加の場合のみ）

ブルー		レッド	
2023年度実施スケジュール	Blue Stream 全企業・アンバサダー参加可能	2023年度実施スケジュール	Red Stream 全企業・アンバサダー参加可能
開催日時	時間	開催日時	時間
6月15日	15:00-17:30	6月15日	15:00-17:30
6月28日	9:00-11:00	6月28日	9:00-11:00
7月21日	9:00-11:00	7月21日	9:00-11:00
8月7日	15:00-17:30	8月7日	15:00-17:30
8月29日	9:00-11:00	8月29日	9:00-11:00
9月12日	15:00-17:30	9月12日	15:00-17:30
10月16日～20日	様々な時間帯	10月16日～20日	様々な時間帯

3-4 ブルーストリーム（イントラプレナー育成講座 マイルストーン）

2023年度における4Revsのソーシャル・イントラプレナー育成講座は、6月～9月の間に実施され、その後、いくつかの出口を用意するとともに、レッド・ストリームとの連動も強化する（レッド・ストリーム参加は、ピラースポンサーのみとなる）。

23.6	23.7	23.7	23.8	23.8	23.9	23.10	23.12
導入・理解フェーズ	リソース活用フェーズ	リソース活用フェーズ	コンパス完成フェーズ	コンパス完成フェーズ	コンパス完成フェーズ	展開・アウトプットフェーズ	展開・アウトプットフェーズ

◆ NELISおよび協力先である League of Intrapreneurs（以下、LoI）のコアチームメンバーの登壇により、ソーシャル・イントラプレナーシップの基礎知識と事例を学ぶ。

◆ ソーシャル・イントラプレナーシップの定義、従来のイントラプレナーシップとの違い、組織における実践の課題などを詳細にわたって学ぶ。

◆ LoIが策定した独自のツール、The Intrapreneur's Compass（日本語版解説書あり）を学び、受講者はご自身のコンパス策定を開始する（講師によるガイダンスあり）。

◆ 併せて、NELISおよびLoIが提供しているリソース、ツール、情報源について、LoIのコアチームメンバーの参加を交えて紹介する。

◆ Global Intrapreneur Week 2023（10月開催予定）への参加の可能性について検討する。

◆ 受講者は、イントラプレナー・コンパスを完成させ、その後の活用方法について学ぶ。

◆ 相互発表、相互フィードバックを通じて、他社の受講者から学び、交流を深める。

◆ コンパス完成後の「アウトプット」「コンテスト参加」などに関するガイダンスを受ける。

イントラプレナー・コンパス完成後に、4つの活用方法を想定している。

- ① 社内における事業創出や企画実施の出発点として使う。
- ② グローバル・イントラプレナー・ウィーク2023（10月予定）に参加し、世界のソーシャル・イントラプレナーと交流する。
- ③ 世界経済フォーラム(WEF)がUplink社とともに開催しているCorporate Changemakers Challengeにエントリーする。
- ④ その他のビジネスコンテスト等に応募、参加する。

※上記②および③が主催者の都合により開催されない場合もある。



3-5 レッドストリーム（概要・年間スケジュール）

1年目の参加者は、mct社のファシリテーションのもと、下記スケジュールに沿って、異業種との分科会活動を行う。
2年目に関しては、6月1日、9月5日、11月16日、2024年2月6日に、進捗共有と助言のための「メンター・セッション」を実施。

2023年度実施スケジュール		Red Stream ピラースポンサーのみ・アンバサダー参加可能	
開催日時	時間	プログラム	備考
6月21日	14:00-17:00	事業共創プログラムの説明 チーム分け 機会探索ガイドの共有	4つの領域で関心のあるテーマを書き出し、同じようなテーマを書き出したメンバーで議論しながら、自身が取り組みたいグループを選びます。
		分科会活動（自主的）	機会探索ガイドを参考に、どのような機会に着目するか、どのようなビジネスを検討するか、インターバル期間で活動していただきます。
7月19日	14:00-17:00	Social Innovation Design Canvasの 説明と活用方法 ユーザーリサーチガイドの共有	事例を参考にビジネス全体像を言語化するキャンパスを理解し、実際に自分たちが検討しているアイデアを形にします。
		分科会活動（自主的）	ユーザーリサーチガイドを参考に、ステークホルダーについてのヒアリングや情報収集を行い、キャンパスをブラッシュアップします。
9月6日	14:00-16:00	進捗共有・ピアレビュー	参加チーム同士でお互いの進捗や活動を共有し、今後の活動を進めていくうえでのアドバイスや議論を行います。
		分科会活動（自主的）	進捗共有・ピアレビューをもとに、仮説検証と構築をすすめます
10月4日	14:00-17:00	検証リサーチガイドの説明	検証リサーチガイドを理解し、アイデアを実現していくための検討要素を洗い出し、実現に向けた検証計画を議論します。
		分科会活動（自主的）	検証リサーチガイドを参考に、ステークホルダーについてのヒアリングや情報収集を行い、キャンパスをブラッシュアップします。
11月15日	14:00-16:00	進捗共有・ピアレビュー	参加チーム同士でお互いの進捗や活動を共有し、今後の活動を進めていくうえでのアドバイスや議論を行います。
		分科会活動（自主的）	進捗共有・ピアレビューをもとに、仮説検証と構築をすすめます
1月17日	14:00-17:00	Solution Storyboardの説明と活用方法 ピッチ紹介	アイデアを時間軸で具体化し、さらなるブラッシュアップを図ります。またアイデアを魅力的に伝え、ステークホルダーを巻き込んでいくためのプレゼンを検討します。
		分科会活動（自主的）	これまでの活動をもとに、最終報告に向けたプレゼン準備を行います。
2月14日	14:00-16:00	各チームの発表 その後の進め方の議論 最終報告会に向けた詰め	参加チーム同士でお互いのプレゼンを共有し、よりよいプレゼンにしていこうとフィードバックを行います。

企業メンバー主導の部会活動にて、4Revsテーマに関する共創セッションを実施



独自のキャンパスSocial Innovation Design Canvasをフレームに議論を重ね、具体化

Social Innovation Design Canvas			
メガトレンド (メガトレンドに基づく 未来課題)	MTP (大規模な変革目標・事業家のバートナー)		スケール化のレベル
	事業コンセプト (事業を最もわかりやすく伝えるフレーズと、事業の独自の切り口・ポイントの説明)		鍵となるパートナー
顧客の問題 (誰が、どんな問題を 抱えているのか?)	解決策 (製品・サービスと独自の顧客提供価値)	インパクト (環境インパクト ・社会インパクト・ 経済インパクトの 期待値)	鍵となる活動・プロセス
			鍵となる技術・リソース
社会ニーズ (ステークホルダーの 期待・要請)	顧客 ①		鍵となるチャネル
	顧客 ②		鍵となるメッセージ
			鍵となる顧客体験 (エンゲージメント)

3-5 レッドストリーム（事業共創プログラム マイルストーン）

2023年4月以降、事業共創プログラムは2年間のプログラムとして実施することを想定、明確なマイルストーンをおいて活動を推進する。半期ごとに明確な区切りをもって、分科会にとって必要となる「次のアクション」を明確にする。

23.6	23.9	23.10	24.3	24.4	24.9	24.10	25.3
アイディエーション テーマ検証フェーズ		チーム（分科会）確定 事業構想フェーズ		チーム（分科会）再編 事業企画フェーズ		実施チーム設計 事業モデル・社内稟議	
◆ mct社およびNELISの進行のもと、関心テーマに関するアイディエーションを行い、初期のチーム編成を行う。 ◆ 4Revs 独自の Social Innovation Design Canvas を活用し、事業背景（メガトレンド）を分析し、事業目的（MTP=大胆な変革目標）を検証し、事業コンセプトや顧客価値など具体的な検証プロセスを開始する。 ◆ 各分科会は、個別にも活動を開始する。		◆ mct社およびNELISの進行のもと、事業構想をより具体的にするための「デザイン・スプリント」「ストーリーボード作成」「分科会での検討」を重ね、24年3月に初年度の最終発表（ピッチ）を行う。 ◆ このフェーズでは、分科会での検討（企業参加メンバー主導）がより重要となり、チーム内での信頼関係の構築が進む。 ◆ 独自調査や外部ヒアリングを開始する場合もある（各分科会の判断による）。		◆ 事業企画の検討まで進みたい分科会・企業参加メンバーによる分科会の設置（分科会のメンバー整理）が行われる。 ◆ 6月、9月には、mctおよびNELISによるメンター・セッションが開催され、全体の進捗確認および課題整理が実施される。		◆ 24年10月の時点で「事業化」を目指すか否かを仮決めし、事業モデルの在り方を具体的に検討する。 ◆ 各参加企業の事業化に向けた参加の意向を確認し、分科会を再編するとともに、調査・ヒアリング・プロトタイピングなどを進める。 ◆ 11月、2月には、mctおよびNELISによるメンター・セッションが開催され、全体の進捗確認および課題整理が実施される。 ◆ 2025年4以降の本格的な事業開発のための社内調整、予算や人的資源に関する議論を開始する。2025年初頭に、4月以降の事業化への参加の有無を各社にて決定する。	



Chapter 4: エコシステムの構成員

4-1 エコシステムの全体像

4Revsのエコシステムは、日本で設立されたNPO法人NELIS（Next Leaders' Initiative for Sustainability）を中心に、下記の企業・団体によって運営されている。



世界6大陸（約100か国）にまたがる若手の社会イノベーター、サステナビリティの実践者、次世代リーダーのグローバル・ネットワーク日本で設立されたNPO法人。NELISは、4Revs全体のグローバル事務局を務め、各地域におけるリサーチによる実行・リサーチチームを編成する。
www.nelisglobal.org



日本の一般社団法人。4Revsに非常に近いテーマ設定で世界的ネットワークを活かして活動。持続可能な都市のサミットを開催しているほか、英国ウィリアム皇太子が主宰するEarthshot賞の日本事務局も務めるなど、多彩な活動を展開。特にグローバル・イノベーション・センター（GIC）の共同運営者として協働する。
<https://pdiegroup.com>



中南米6か国に事務所を構えるソーシャル・ベンチャー。100か国から約100万人の「クリエイティブ・マインド」が登録するオンライン・プラットフォームを活用し、イノベーション・チャレンジやエコシステム・ビルディングに多面的に取り組んでいる。4Revsにはグローバル・イノベーション・チャレンジの実施で参加。
<https://socialab.com>



セールスフォース・ジャパンは、4Revsのテクノロジー・パートナーとして、IT面のサポートおよび4Revs事例データベースの構築で協力・参加。
www.salesforce.com



mct社（日本）はデザイン思考、事業開発支援、チームビルディングなどを活動テーマとする日本のコンサルティング・ファーム。レッドストリーム）、4Revsの個別ツールなどの事務局として、実行支援パートナーを務める。
www.mctinc.jp



PR会社として、4Revsの公開用ホームページ運営および広報を担当。

www.argo-ms.com

4-2 日本の事務局

4Revsはグローバルなエコシステムを築くが、日本では下記が主な事務局メンバーとして参加企業およびリサーチチームをサポートする。

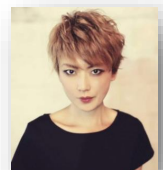


Peter David Pedersen (ピーター D. ピーダーセン)

NPO法人NELIS代表理事

大学院大学至善館教授兼Center for Sustainability & Innovation
センター長。丸井グループおよび明治ホールディングス社外取締役。

pdp@pdplab.jp



Maiko Shintani (新谷舞子)

大学在学中よりデンマークおよびエコビレッジを探索する

”持たず、属さず、囚われず”をモットーに、毎年3ヶ月間ほどはデンマーク & 欧州で過ごす。駐日デンマーク大使館、株式会社レアなどを経て、現在はフリーランス

maiko.shintani@nelisglobal.org



Magnus Bengtsson (マグヌス・ベングソン)

環境システム分析博士、工業エンジニアリング & マネジメント修士

独立系環境・サステナビリティ政策研究者兼コンサルタント

フューチャーアース（国際協働研究プラットフォーム）の「持続可能な消費と生産のシステムー知と実践ネットワーク」の設立メンバー

bmbengtsson@gmail.com



Hideaki Shirane (白根英昭)

株式会社mct 共同創業者兼代表取締役

優れた顧客経験を提供する製品・サービス・コミュニケーションの開発を
お手伝いするデザインコンサルティングチームを率いる

shirane@mctinc.jp



Yuji Kuwayama (桑山雄二)

株式会社mct コンサルタント

優れた顧客体験を描き、実現するための支援を行う

kuwayama@mctinc.jp

4Revsにおける主な役割

プロジェクト・リード（統括責任者）

リサーチギャザリング、ウェビナー、サミットの運営、
グローバルリサーチチームとの調整

コミュニティ・マネージャー

企業参加者の連絡窓口、情報発信（ニュースレター）、
グローバルチームとの調整

4Revsインテリジェンス機能責任者

ITプラットフォーム上のインテリジェンス情報編集・更新
リサーチギャザリングなどにおける関連情報共有

レッドストリーム（共創プログラム）のファシリテーター および個別ツール運営事務局・運営支援

レッド・ストリームの合同会議やリーンスプリントなどの
ファシリテーション
必要に応じた個別のサポート（有償）

4-3 リサーチおよび実施支援チーム

4Revs 2023は、世界11か国12名のリサーチャーによる実行・サポート体制を実現。それぞれケースリサーチに関わる他、次のような役割を担う。



米国
Katie Conlon

ケースのメタ分析をリード



モーリシャス
Jovin Hurry

レッドストリームのグローバル連携をリード



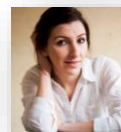
米国
Taylor Smythe

新規ケースリサーチをリード



ギリシア
Frantz Dhers

GCNをリード



ベルギー
Noemi Salantiu

4Revsハンドブックをリード



コロンビア
Lucas Sanchez

GICイノベーションラボを
リード



英国
Puja Thiel

GICリサーチサロンをリード



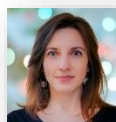
パレスチナ
Salam Al-Khateeb

ケースリサーチおよび4Revsア
フリカとGCN立ち上げ支援



インド
Shravan Shankar

インパクト投資ファンド研究会
をリード



イタリア
Ilaria Brambilla

ケースリサーチと4Revsハンド
ブック制作



ナイジェリア
Felix Izimoh

4Revsアフリカ立ち上げを
リード



コスタリカ
Christopher Brosse

ケースリサーチとGICリサーチ
サロン

4-5 参加企業（2023年度）

4Revsは、企業・公的組織の年間参加費により運営される。参加枠は下記2つとなっている。

ピラー・スポンサー

<13社>

事務局参加6名、アンバサダー12名（配分は自由設定）

アスクル株式会社
株式会社セールスフォース・ジャパン
たねやグループ
帝人株式会社
株式会社東芝
日建設計株式会社
日本電気株式会社
株式会社日立製作所
丸紅株式会社
みずほ銀行
パナソニック株式会社
横河電機株式会社
不二製油株式会社

コミュニティ・パートナー

<12社>

事務局参加4名、アンバサダー8名（配分は自由設定）

井村屋株式会社
KDDI株式会社
京セラ株式会社
サッポロビール株式会社
サントリーホールディングス株式会社
大建工業株式会社
東京エレクトロン株式会社
BIPROGY株式会社
株式会社丸井グループ
ライオン株式会社
三菱商事ライフサイエンス株式会社
株式会社明治ホールディングス

4-6 主宰者NELISの組織概要

Our Vision: One World in Harmony

Our Mission: Connecting, Inspiring and Empowering a New Generation of Sustainability Leaders Worldwide

- **名称
英語名** NPO法人**NELIS**（ネリス） 次世代リーダーのグローバル・ネットワーク
NELIS – Next Leaders' Initiative for Sustainability
- **設立年月日** 2015年1月30日（滋賀県近江八幡市）、2020年8月よりNPO法人（東京にて登記）
- **共同設立者** ピーター D. ピーダーセン（代表理事／大学院大学至善館教授）
秋村 田津夫（設立理事／NPO法人アスクネイチャー・ジャパン理事）
山本 昌仁（設立理事／たねやグループCEO）
- **住所** **180-0006** 東京都武蔵野市中1-22-5-401
- **ウェブサイト** www.nelisglobal.org

NELISのグローバルネットワークについて

NELISは2015年、2017年、2018年、2022年、立命館大学および上智大学との協働により、日本で4度の次世代リーダーサミットを開催しているほか、ヘルシンキ大学やラゴス州立大学、シンガポール国立大学（NUS）の協働により、欧州サミット（1回）、アフリカサミット（3回）、アジアサミット（1回）、ラテンアメリカサミット（1回）を開催している。それぞれのサミット参加メンバーを中心に、現在は世界100か国にまたがる約1800人の若手社会イノベーター（主に40歳未満）によるネットワークを形成、日本以外にナイジェリア、シンガポール、リベリア、ウガンダ、コロンビア、フィンランド、ネパールで現地非営利法人を設立し、支部活動を展開している。

NELISメンバーが関わるサステナビリティのテーマは多岐にわたる

持続可能な森林経営、生態系の持続可能な管理、食糧、有機農業、パーマカルチャー、サーキュラー経済、プラスチック問題、都市計画、輸送、気候変動、エネルギー（創エネ、省エネ）、水、サステナブル・ファイナンスといった「ハード」なテーマに加え、次世代型リーダーシップ、アートを通じたコミュニケーション体験、子どものための環境教育、新しい学習・教育パラダイム、共感を通じた社会変革活動、非暴力コミュニケーション、社会起業家育成などといった「ソフト」な分野における知見を有するメンバーも多い。



CONNECT



INSPIRE



EMPOWER